

岩手県立農業試験場研究報告
第24号 199-214(1984)

〔資料〕

準奨励品種編入に関する資料

—水稲(うるち)コチミノリ(ふ系126号)—

昭和58年1月

I 来歴

水稲(うるち)品種「コチミノリ」(ふ系126)は、昭和48年青森県農業試験場藤坂支場において、「むつあさひ」を母とし、「マツマエ」を父として人工交配を行い、同年冬期間に温室でF₁世代を栽培し、昭和49年(F₂)以降集団育種法により育成された系統である。昭和51年F₄世代で個体選抜が実施され、52年(F₅)以降は系統栽培によって選抜・固定が図られて来た。

昭和54年(F₇)より「藤599」として、生産力検定試験ならびに系統適応性検定試験、特性検定試験に供試され、その結果有望と認められたので、昭和55年より「ふ系126号」の系統名で関係各県に配布され地方的適否が検討された。昭和57年で雑種第11代である。

本県では昭和55年より「シモキタ」を対象とし、奨励品種決定調査で検討してきた。また現地調査は55年に種市、浄法寺、沢内の三ヶ所で行われ、56年以降は「シモキタ」が栽培されているすべての現地において同系の適否を検討した結果、耐冷性が強く有望であると判定した。

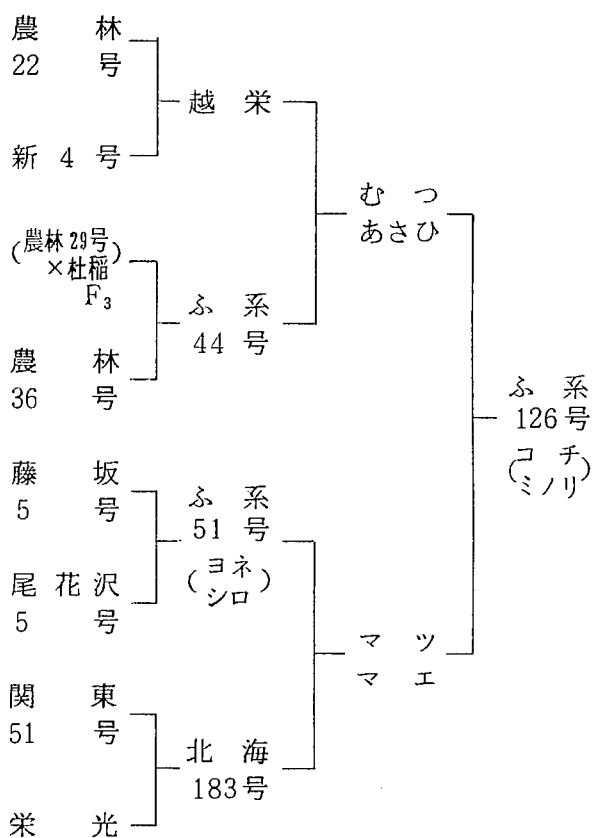
II 特性の概要

本系統は特に現在の奨励品種に見られない高度な障害型耐冷性をもっている。育成地における長期冷水掛流し、人工気象装置による検定において「強」と判定されている。圃場での観察でも減数分裂期の低温抵抗性が強いばかりでなく、55年の調査結果から開花時の低温抵抗性にも強いことが推定されるなど、障害型耐冷性の強いことが最大の特徴である。

1 形態的特性

稈長は「シモキタ」より3~5cm短く稈は太い。穂長は「シモキタ」並からやや長く、一穂の着粒数も多く、籾も大きいので概して穂重感がある。穂数は「シモキタ」並の短稈偏穂数型品種である。苗の葉身は伸びやすく、草丈は「シモキタ」と「ハヤニシキ」の間である。葉幅が広く葉身も長めで葉色も濃いので外観は強そうであるが、低温下での活着及び初期生育は「ハヤニシキ」その他の品種よりは良いものの「シモキタ」にはやや劣る。

「コチミノリ」(ふ系126号)の系譜



粒数多く、籾も大きいので概して穂重感がある。穂数は「シモキタ」並の短稈偏穂数型品種である。苗の葉身は伸びやすく、草丈は「シモキタ」と「ハヤニシキ」の間である。葉幅が広く葉身も長めで葉色も濃いので外観は強そうであるが、低温下での活着及び初期生育は「ハヤニシキ」その他の品種よりは良いものの「シモキタ」にはやや劣る。

栄養生長期の頃の稲体は大きいですが、節間伸長期以後になると稈長が伸びず相対的に小さくなる。この頃では葉身が立ち「シモキタ」より草姿はすぐれるが、下葉枯れが発生することがある。稈は太く稈長も長くないので、耐倒伏性は「シモキタ」よりすぐれる。

籾は極稀に短芒を有し、穂長は中からやや短く粒着はやや密である。玄米は大きい方で光沢は中位と見られ腹白の発生は「シモキタ」より少ないが、やや乳白粒が出やすく品質は「シモキタ」並と見られる。

2 生態的特性

出穂期は「シモキタ」に比べ2～3日早いですが、成熟期は逆に2～3日遅い。したがって成熟日数は「シモキタ」より5～7日長くなる。

いもち病に対しては抵抗性遺伝子が「+」と推定されているが、圃場抵抗性は強い方ではない。葉いもち病には「ハヤニシキ」並かやや弱めで、穂いもち病は「トワダ」よりやや強めであるが概して「中」と判定される。

稈は太く倒伏抵抗性は「シモキタ」より強いが「ハヤニシキ」等より劣り、倒伏型は坐折型でなく屈曲型である。

収量性は高い方であるが、本田初期に分けつが少ないと低収となることがある。

Ⅲ 準奨励品種に採用した理由

本県において「シモキタ」は昭和39年に早生、耐冷多収品種として奨励品種に採用され、県中北部の山間地帯を対象として作付されてきたが、耐倒伏性、並びに品質に難点があることから、「シモキタ」に代わる早生、耐冷、強稈、良質品種が強く要望されてきている。

コチミノリ（ふ系126号）は昭和55年から奨励品種決定調査並びに現地調査に供試して検討した結果、現在の水稻品種中最強の障害型耐冷性を持ち、「シモキタ」より強稈で安定性があることから、準奨励品種として採用し収量の安定化を図りたい。

Ⅳ 普及見込地帯及び面積

県中北部山間地、北部沿岸地帯。現在の「シモキタ」栽培地域及び「シモキタ」の栽培適地。

普及見込面積 1,500～2,000 ha

Ⅴ 栽培上の注意事項

- (ア) 本田での初期生育は悪い方ではないが、移植後早くから分けつさせた方が穂数確保も容易で高収となるので、移植後の水管理、肥培管理を徹底すること。
- (イ) 出穂期以後「シモキタ」より下葉枯れが多くなるので、未熟堆肥の多投並びに生わら鋤込みした水田、強湿田では中干し等の水管理に留意する。
- (ウ) 稈は「シモキタ」よりも強いが多肥栽培では草姿を乱し、受光体勢を悪くし登熟遅延や品質低下の原因となるので、施肥量は「シモキタ」並とする。

準奨励品種編入に関する資料

- (エ) いもち耐病性は中程度であることから、適期防除に努めるとともに粒剤の使用等を考慮し、いもち病防除には万全を期する。
- (オ) 出穂期は「シモキタ」より早いが発育が遅れるので、できるだけ葉齢の進んだ苗を適期に移植する。特に県北部山間等で遅延型冷害を招くような地帯では中苗以上の苗を移植し、生育が遅れないような栽培を行うこと。

Ⅵ 試験成績

(1) 特性調査

項目 品種・系統名	稈 質		芒		稈先色	粒着 疎密	脱粒 難易	玄 米	
	細 太	剛 柔	多 少	長 短				形 状	大 小
ふ系 126 号	やや太	やや剛	極 少	短	黄 白	密	難	中	やや大
シモキタ	やや細	やや柔	極 少	短	黄 白	中	難	中	中 小
ハヤニシキ	太	剛	無	一	黄 白	中	難	中	中

(2) 品質調査

項目 品種・系統名	腹 白		心白	光 沢	粒 色	粒 揃	品質	検査等級	粒 大
	腹白粒率	多 少							長さ×巾×厚さ
ふ系126号	1.2	微	少	やや良	濃 飴	良	中下	3下	5.01×2.93×2.13
シモキタ	30.1	中~多	少	中	濃 飴	やや良	中下	3中~3下	4.87×2.76×1.97
ハヤニシキ	1.0	無~微	微	良	中濃飴	良	中中	3下	4.92×2.88×2.07

57年産生検標肥区調査

(3) 生育収量調査

耕種概要 (本場)

試験年度	苗代様式	移植月日	本 田 施 肥 量 (kg / a)						栽 植 密 度			1 株 栽植 本数	反 復 回 数
			標 肥 区			多 肥 区			条間 (cm)	株間 (cm)	㎡当り 株 数		
			N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O					
55	稚苗・散播	5月	1.0		1.2	1.0		1.2	30.0	13.0	25.6	4~5	3
56			+		+	+		+					
57	ハウス育苗	15日	0.2	3.0	0	0.3	4.0	0	30.0	13.0	25.6	4~5	3
57			+		+	+		+					
			0		0	0.3		0.2					

耕種概要(県北分場)

試験年度	苗代様式	移植月日	本田施肥量(kg/a)						栽植密度			1株栽植本数	反復回数
			標肥区			多肥区			条間 (cm)	株間 (cm)	㎡当り 株数		
			N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O					
55 56 57	中苗・散播 ハウス育苗	5月20日	0.6 + 0 + 0.2 + 0	2.0	1.0	0.8 + 0 + 0.3 + 0	3.0	2.0	25.0	15.0	26.7	4	3

標肥条件の生育・収量

試験場所	品種名	試験年次	出穂期 月日	成熟期 月日	結実 日数	成熟時			倒伏	玄米重 kg/a	同左比 %	品質
						稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/㎡				
本場	ふ系126号	55	8.7	9.23	47	61	17.3	532	0	65.8	162	中中
		56	9	10.4	56	66	17.5	433	0	48.8	96	中中
		57	12	1	50	62	16.4	512	0	59.2	101	中下
		平均	8.9	9.29	51	63	17.1	492	0	57.9	116	中中
本場	シモキタ	55	8.9	9.21	43	62	16.5	505	0	40.6	100	中上
		56	14	10.6	53	69	17.3	435	0	50.7	100	中中~ 中上
		57	13	9.29	47	67	16.0	499	0	58.4	100	中下
		平均	8.12	9.29	48	66	16.6	480	0	49.9	100	中中
県北分場	ふ系126号	55	15	—	—	71	16.6	609	0	13.8	445	中上
		56	9	10.12	64	70	18.7	462	3.3	45.7	94	中上
		57	13	7	55	67	17.3	483	0	64.8	105	中下
		平均	8.12	10.10	60	69	17.5	518	1.1	41.4	110	中中
県北分場	シモキタ	55	8.14	—	—	71	15.5	617	0	3.1	100	中上
		56	13	10.10	58	75	18.6	457	2.3	48.5	100	中中
		57	13	2	50	69	17.1	481	0	61.5	100	中中
		平均	8.13	10.6	54	72	17.1	518	0.8	37.7	100	中中

準奨励品種編入に関する資料

多肥条件の生育・収量

試験場所	品種名	試験年次	出穂期	成熟期	結実 日数	成熟時			倒伏	玄米重	同左比	品質
						稈長	穂長	穂数				
本	ふ系126号	55	月日 8. 7	月日 10. 1	日 53	cm 62	cm 17.2	本/m ² 545	0	kg/a 67.6	% 200	中上
		56	10	5	56	65	17.6	404	0	48.3	89	中下
		57	12	3	52	65	16.6	520	0	61.8	97	中下
		平均	8.10	10. 3	54	64	17.1	490	0	59.2	117	中中
場	シモキタ	55	8. 8	9.24	47	67	17.0	594	0	33.8	100	中中~中上
		56	16	10.14	59	71	17.9	466	ナビク	54.4	100	中下~中中
		57	12	9.30	49	70	16.8	535	0.5	63.8	100	中下
		平均	8.12	10. 3	52	69	17.2	532	0.2	50.7	100	
県 北 分 場	ふ系126号	55	16	—	—	70	16.4	611	0	12.9	—	—
		56	10	10.14	65	72	18.7	419	1.2	44.4	86	中上
		57	14	10	57	68	17.6	497	0	65.0	106	中下
		平均	8.13	10.12	61	70	17.6	509	0.4	40.8		中中
場	シモキタ	55	8.15	—	—	74	15.4	692	0	1.0	—	—
		56	15	10.13	59	75	18.7	427	1.2	51.7	100	中中
		57	14	4	51	71	17.1	513	0	61.3	100	中下
		平均	8.15	10. 9	55	73	17.2	544	0.4	38.0		中中~中下

(4) 構成要素

標肥条件

試験場所	品種名	試験年次	枝 梗 数		一穂着粒数			m ² 当り 粒 数	登 熟 歩 合			玄 米 千粒重
			一次	二次	一次	二次	計		登熟	糝	不稔	
本	ふ系126号	55	本 7.7	本 13.7	42.1	40.7	82.8	×10 ³ 44.0	% 68.7	% 9.1	% 22.2	g 21.6
		56	7.6	13.5	39.0	37.1	76.1	33.0	65.7	24.6	9.7	22.5
		57	8.6	8.8	43.4	23.4	66.8	34.2	80.6	12.8	6.5	22.7
		平均	8.0	12.0	41.5	33.7	75.2	37.1	71.7	15.5	12.8	22.3
場	シモキタ	55	8.8	10.9	40.0	28.1	68.1	34.4	57.6	0.7	41.7	21.4
		56	8.2	10.7	—	—	70.2	30.5	75.3	16.8	7.9	20.0
		57	8.8	8.3	44.0	21.9	66.3	33.1	85.9	6.4	7.6	20.5
		平均	8.6	10.0	(42.0)	(25.0)	68.2	32.7	72.9	8.0	19.1	20.6
県 北 分 場	ふ系126号	55	9.0	10.4	48.1	28.9	77.0	46.9	18.2	0.6	81.2	20.8
		56	8.4	13.0	44.4	37.2	81.6	37.7	56.0	29.3	14.7	21.8
		57	—	—	47.2	32.3	79.5	38.4	65.7	19.0	15.3	23.7
		平均	8.7	11.7	46.6	32.8	79.4	40.7	46.6	16.3	37.1	22.1
場	シモキタ	55	9.0	9.2	45.4	25.7	71.1	43.9	6.3	0.1	93.6	20.2
		56	8.7	14.0	46.4	39.2	85.6	39.1	54.9	29.3	15.8	20.6
		57	—	—	50.4	30.6	81.0	38.9	72.0	8.8	19.2	21.1
		平均	8.9	11.6	47.4	31.8	79.2	40.6	44.4	12.7	42.9	20.6

多肥条件

試験場所	品種名	試験年次	枝 梗 数		一 穂 着 粒 数			㎡当り 籾 数	登 熟 歩 合			玄 米 千粒重
			一次	二次	一次	二次	計		登熟	粃	不稔	
本 場	ふ系126号	55	7.7 ^本	16.2 ^本	41.6	48.8	90.4	49.3 ×10 ³	62.9 %	9.4 %	27.7 %	21.8 g
		56	7.6	12.9	39.7	36.6	76.3	30.8	64.7	27.4	8.0	22.4
		57	8.6	10.5	44.0	27.9	71.9	37.4	67.2	26.0	6.8	23.1
		平均	8.0	13.2	41.8	37.8	79.6	39.2	64.9	20.9	14.2	22.4
	シモキタ	55	8.7	11.1	43.5	30.4	73.9	42.1	39.2	0.9	59.9	21.8
		56	7.8	12.4	—	—	76.6	35.7	67.8	19.5	12.7	21.1
		57	8.9	9.5	44.6	24.8	69.4	34.6	80.8	12.5	6.6	20.7
		平均	8.5	11.0	(44.1)	(27.6)	73.3	37.5	62.6	11.0	26.4	21.2
県 北 分 場	ふ系126号	55	8.6	9.3	45.3	24.8	70.1	42.9	16.8	0.7	82.5	21.0
		56	7.5	13.4	40.7	37.2	77.9	32.7	59.4	27.8	12.8	22.2
		57	—	—	50.0	32.1	82.1	40.7	61.1	17.1	21.8	23.9
		平均	8.1	11.4	45.3	31.4	76.7	38.8	45.8	15.2	39.0	22.4
	シモキタ	55	9.3	9.3	43.8	25.9	69.7	48.2	1.4	0.1	98.5	19.7
		56	8.1	12.7	44.6	35.4	80.0	34.2	64.3	24.5	11.3	20.7
		57	—	—	48.9	32.3	81.2	41.6	61.6	9.7	28.7	21.4
		平均	8.7	11.0	45.8	31.2	77.0	41.3	42.4	11.4	46.2	20.6

(5) 育成地における成績

成苗 標肥区 (N:P:K=0.8:1.4:0.9) 多肥区 (N:P:K=1.04:1.9:1.2)

項目 系統名 及び品種名	年次	標 肥 区										多 肥 区									
		出穂期	成熟期	倒伏	成 熟 時			収 量		出穂期	成熟期	倒伏	成 熟 時			収 量					
					稈長	穂長	穂数	全重	ワラ重				稈長	穂長	穂数	全重	ワラ重				
ふ系126号	54	8.1	—	0	65 ^{cm}	15.8 ^{cm}	490 ^{本/㎡}	139.5 ^{kg/a}	56.4 ^{kg/a}	8.3	—	0	68 ^{cm}	16.6 ^{cm}	551 ^{本/㎡}	136.8 ^{kg/a}	59.2 ^{kg/a}				
	55	4	—	0	68	18.8	473	158.7	92.1	4	—	0	70	17.9	582	174.0	114.0				
	56	7	9.25	0	75	19.0	448	138.0	56.7	7	9.28	0	77	19.5	459	140.3	61.1				
	57	14	23	0~5	85	17.9	562	160.5	76.5	13	23	4~5	87	18.9	589	165.0	80.3				
	平均	8.7			73	17.9	493	149.2	70.4	8.7		0	76	18.2	545	154.0	78.7				
ハマアサヒ	54	7.29	—	0	70	17.4	446	137.1	64.2	7.30	—	0	75	16.1	512	141.9	71.7				
	55	28	—	0	78	20.0	509	154.6	102.0	28	—	0	80	20.4	578	174.4	130.2				
	56	8.5	9.15	0	79	20.2	411	135.4	58.2	8.5	9.20	5	82	20.3	450	141.8	60.8				
	57	12	16	0~5	92	18.6	559	174.8	88.5	11	16		95	18.7	578	176.3	86.3				
	平均	8.3			80	19.1	481	150.5	78.2	8.3		0	83	18.9	530	158.6	87.3				
シモキタ	54	8.2	—	0	70	16.9	454	126.7	62.8	8.4	—	0	73	17.3	573	136.8	73.2				
	55	9	—	0	71	16.7	472	134.6	99.2	11	—	2~3	78	17.6	585	163.5	129.0				
	56	10	9.25	1~2	82	20.1	453	137.3	63.0	10	9.30	5	83	20.7	456	139.5	64.4				
	57	14	19	4	92	18.7	559	153.8	78.0	13	18		91	18.9	692	157.5	75.0				
	平均	8.9			79	18.1	485	138.1	75.8	8.10			81	18.7	579	149.3	85.4				

準奨励品種編入に関する資料

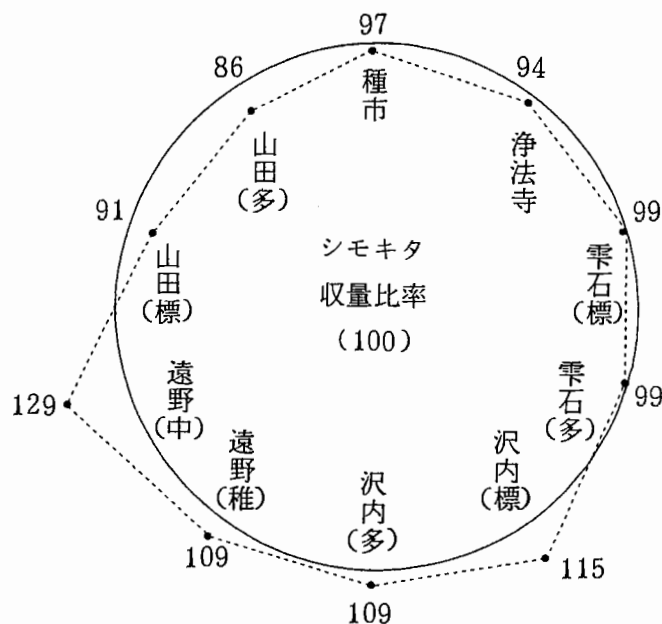
項目 系統	年次	標 肥 区						多 肥 区					
		精粉重	玄米重	同左比	千粒重	品質	検査等級	精粉重	玄米重	同左比	千粒重	品質	検査等級
ふ系126号	54	kg/a 83.1	kg/a 62.2	% 135	g 20.6	中上	1下~1中	kg/a 77.5	kg/a 58.8	% 132	g 20.2	中上	2上
	55	54.8	45.5	268	20.8	上下~中上	3上	48.5	40.3	246	20.8	中中	3中~3上
	56	68.3	54.0	108	22.9	中中~中下	規外上~3下	68.9	49.1	109	22.8	中下~下上	規外中~3上
	57	71.1	55.1	118	21.4	中中	3下~2下	69.6	53.8	113	21.0	中中	2中~2下
	平均	69.3	54.2	136	21.4	中上~中中		66.1	50.5	131	21.2	中中	
ハマアサヒ	54	72.9	52.5	114	19.4	中下~下上	2中	70.2	51.3	115	18.8	中下	2下~2上
	55	40.6	32.2	189	18.0	中上~中中	3下~2上	30.8	24.4	149	17.9	中下~下上	規外上~3中
	56	66.4	51.9	104	21.5	中中	3上	71.4	49.9	111	21.6	中下	3中~3上
	57	75.8	57.5	125	18.9	中中	2中~1下	78.9	59.1	124	19.3	中中	2中~2下
	平均	63.9	48.5	135	19.5	中中		62.8	46.2	120	19.4	中下	
シモキタ	54	63.9	46.2	(100)	19.2	中下	2中~1中	63.6	44.6	(100)	18.2	中中	2中
	55	21.2	17.0	(100)	19.3	中中~中下	3下~3上	20.5	16.4	(100)	18.6	中中	規外上~3下
	56	63.7	50.1	(100)	21.9	中下~下上	3下~3上	63.5	45.0	(100)	21.4	下上	3下
	57	63.5	46.0	(100)	19.0	中下~下上	3下~3中	64.4	47.7	(100)	19.3	中下	3中~2下
	平均	53.1	39.8	(100)	19.9	中下		53.0	38.4	(100)	19.4	中下	

(6) 現地調査の成績

55年

試験場所	品種名	苗	施肥	出穂期	成 熟 時			玄米重	同左比
					稈長	穂長	穂数		
種 市	ふ系126号	中苗	標肥	月日 8.20	cm 54	cm 14.9	本/m ² 416	kg/a 2.2	% —
	シモキタ			18	58	14.6	436	—	—
浄法寺	ふ系126号	中苗	標肥	8.9	57	18.4	482	54.0	166
	シモキタ			10	62	17.6	456	32.6	100
沢 内	ふ系126号	中苗	標肥	8.3	67	18.4	487	64.2	165
	シモキタ			7	69	17.1	531	39.0	100
	ふ系126号	中苗	多肥	8.2	66	18.7	488	73.3	150
	シモキタ			5	66	17.3	501	48.8	100

56・57年の平均収量(対シモキタ)



現地調査の概評一覧

場所	評価			優 点	欠 点	どの品種と 変りうるか
	55	56	57			
種市		○	○	千粒重大さい、形質(透明度)良	着色粒多い、光沢劣る、整粒歩合低い、腹白多い、熟期遅い	シモキタ ハヤニシキ
浄法寺	◎	△	○	品質がよい、多収、千粒重大さい、耐冷性強(冷害年多収)	57年低収	シモキタ ハヤニシキ
霰石		○	△	被害粒少く品質シモキタ並~やや良、腹白シモキタより少い	腹白やや多い、葉先枯れがある やや低収、青米、死米やや多い	シモキタ ハヤニシキ
沢内	◎	○	○	強稈、多収、品質よい、穂数がとれやすい、熟期早い、耐冷性強	登熟やや悪い、葉先枯目立つ、腹白やや多い、いもちに弱い	シモキタ
遠野		○	◎	登熟良、耐冷性強、強稈、品質良	いもち難点、腹白やや見える、登熟緩慢、穂揃不良	シモキタ
山田		○	○	強稈、千粒重大さい、品質良	登熟やや悪い、葉先枯目立つ、葉いもち、穂数不足で低収	シモキタ

準奨励品種編入に関する資料

(7) 特性検定試験

(ア) いもち耐病性検定

① 葉いもち検定

(青森農試 藤坂支場)

系統名及び 品 種 名	推 定 遺伝子	1979		1980		1981		1982	
		発病指数	判定	発病指数	判定	発病指数	判定	発病指数	判定
ふ系126号	+	5.0	○	5.7	△	5.0	△	5.7	△
フジミノリ	a	5.0	○	5.2	○	4.1	○	4.6	○
トワダ	a	5.7	△	6.1	△	5.3	△	6.3	△
陸奥光	+	6.5	×	6.8	×	6.2	×	7.1	×
シモキタ	a・ta	3.8		5.1		1.7		4.1	

発病指数 0~10 3回調査平均

(秋田農試 大館分場)

系統名及び 品 種 名	1980		1981		1982	
	発病程度	判定	発病程度	判定	発病程度	判定
ふ系126号	5.5	極弱	2.0		1.3	
レイメイ	5.3	やや弱	0.7		1.0	
アキヒカリ	4.8	やや弱	1.0		0.3	

(福島農試 相馬支場)

系統名及び 品 種 名	1980		1981		1982	
	発病程度	判定	発病程度	判定	発病程度	判定
ふ系126号	4.5	やや弱	5.7	中		
レイメイ	4.8	やや弱	5.5	やや強		
アキヒカリ	5.2	弱	5.7	(中)		

(愛知農試 山間実験)

系統名及び 品 種 名	1980		1981		1982	
	発病程度	判定	発病程度	判定	発病程度	判定
ふ系126号	5.1	△○	3.9	△	6.1	
レイメイ	4.4	○	1.7	○	4.6	
アキヒカリ	4.7	○	1.7	○	5.3	

(岩手農試 病虫科)

品種・系統名	昭 56				昭 57				遺伝子型
	A	B	C	平均	A	B	C	平均	
ふ系126号	40	40	40	40	30	40	60	43	+
ハマアサヒ	40	60	40	47	0	0	0	0	b, K
マツマエ	R	R	R	0	30	40	40	37	K
シモキタ	R	R	R	0	0	5	0	2	a, ta
ハヤニシキ	40	60	20	40	40	40	20	33	+
フジミノリ	60	60	40	53	40	40	30	37	a
アキヒカリ	60	60	40	53	50	50	40	37	a

② 穂いもち検定

(青森農試 藤坂支場)

品種・系統名	推定 遺伝子	1979		1980		1981		1982	
		発病指数	判定	発病指数	判定	発病指数	判定	発病指数	判定
ふ系126号	+	5.8	△	6.6	△	6.8	×	3.8	×
オイラセ	a	5.4	△	8.2	×	6.5*	×	2.5*	×
シモキタ	a-ta	6.0	△	5.4	△	3.6	△	1.8	△
ユーカラ	k	10.0	××	9.8	××	9.3	××	6.9	××

* 節いもち多
発病指数0~10 3区平均値

(秋田農試 大館分場)

品種・系統名	1980		1981		1982	
	発病程度	判定	発病程度	判定	発病程度	判定
ふ系126号	3.7	やや強	6.0	やや弱	5.7	中
レイメイ	4.5	やや強	6.0	やや弱	4.7	中
アキヒカリ	3.0	やや強	5.7	やや弱	4.3	やや強

(福島農試 相馬支場)

(愛知農試 山間実験)

品種・系統名	1980		1981		品種・系統名	1980		1981	
	発病程度	判定	発病程度	判定		発病程度	判定	発病程度	判定
ふ系126号	4.4	中	2.3		ふ系126号	2.8	△○	5.0	×
レイメイ	4.7	中	0.2		レイメイ	1.6	○	2.7	△○
アキヒカリ	5.0	中	0.2		アキヒカリ	1.2	○	3.3	△

準奨励品種編入に関する資料

(島根農試 赤名分場)

品種・系統名	1980		1981	
	発病程度	判定	発病程度	判定
ふ系126号	9.0		5.5	×
レイメイ	9.0		3.7	○
アキヒカリ	9.5		4.0	△○

(1) 耐冷性検定試験

① 長期冷水掛流し検定試験

(青森県農試 藤坂支場)

品種・系統名	1979		1980		1981	
	不稔歩合	判定	不稔歩合	判定	不稔歩合	判定
ふ系126号	15.0	◎	78.3	△○~○	8.7	◎
シモキタ	55.3	△○~○	99.3	×	16.3	○
ハマアサヒ	58.0	△○	39.3	○	10.1	○~◎
ふ系86号	86.9	×	60.2	△○~○	13.6	○
トワダ	50.8	△×	—	××	78.2	△×

② 中期冷水掛流し検定試験

品種・系統名	1979	1980	1981
ふ系126号	○	○	○
シモキタ	△×	△	○
ハマアサヒ	×	△○	△○~○
ふ系86号	×	—	△
トワダ	△×	—	△×

一般圃場の観察判定

③ 人工気象室検定試験

(青森県農試 藤坂支場)

品種・系統名	1979			1980			1981			1982		
	出穂期 (月・日)	不稔歩 合(%)	判定	出穂期 (月・日)	不稔歩 合(%)	判定	出穂期 (月・日)	不稔歩 合(%)	判定	出穂期 (月・日)	不稔歩 合(%)	判定
ふ系126号	7.25	39.0	◎	8.21	65.7	◎	8.1	36.1	○	8.2	18.6	○
シモキタ	25	71.6	○	24	90.3	△○	3	52.1	△○	9	94.7	
ハマアサヒ	25	83.7	△○	7.20	79.5	○~◎	7.30	43.2	△○~○	4	33.4	
ふ系86号	21	79.5	△○	8.11	85.2	△~△○	25	29.0	◎	2	84.9	△
トワダ	8.1	80.3	△×	7.28	85.3	△×	8.3	40.9	△○~○	11	85.0	△

* 判定不能

④ 生検圃場不稔発生率(1980)

(青森農試 藤坂支場)

品種・系統名	不稔歩合
ふ系126号	25.5
ハマアサヒ	44.6
シモキタ	74.0

⑤ 奨決現地試験不稔率(1982)

(岩手農試)

場所	ふ系126号				ハヤニシキ				シモキタ			
	雫石	山田	遠野		雫石	山田	遠野		雫石	山田	遠野	
			稚苗	中苗			稚苗	中苗			稚苗	中苗
出穂期	8.8	8.10	8.17	8.12	8.13	8.11	8.17	8.13	8.11	8.11	8.17	8.12
不稔歩合	10.6	7.1	16.3	21.5	—	20.6	48.6	52.4	11.0	15.0	30.9	42.5

(ウ) 穂発芽検定

品種・系統名	判定
ふ系126号	極難
ハマアサヒ	ヤ難
シモキタ	易

昭和54年

育成地(藤坂支場)

(エ) 搗精試験及び食味試験

① 搗精試験

(岩手県農試)

品種・系統名	玄米水分	搗精時間			
		項目	1分	1分10秒	1分20秒
ふ系126号	14.5%	搗精歩合 %	* 90.8	89.9	89.4
		胚芽残存率 %	22.3	17.4	11.3
ハヤニシキ	14.2%	搗精歩合 %	92.7	* 91.7	91.4
		胚芽残存率 %	16.2	12.7	6.2
シモキタ	14.4%	搗精歩合 %	91.8	91.3	* 90.9
		胚芽残存率 %	48.3	32.6	19.9

* は糠のとれ具合(背溝に1/2程度のこる)から見た搗精終点である。

準奨励品種編入に関する資料

② 食味試験

(青森農試 藤坂支場)

試験月日	標準品種	系統名及び 品 種 名	総合 評価	外 観	香 り	味	粘 り	硬 さ
55. 1. 18 (20)	アキヒカリ	シモキタ	-0.40	-0.85	-0.05	-0.30	-0.10	-0.60
		藤599(ふ126)	0.35	0.50	0.15	0.30	0.05	0.30
		ハマアサヒ	-0.80	1.00	-0.20	-0.65	-0.80	0.00
55. 10. 9 (14)	シモキタ	ふ系126号	1.21	1.57	0.57	0.79	1.21	-0.07
		ハマアサヒ	1.50	1.14	0.71	1.14	1.07	-0.21
55. 10. 13 (18)	シモキタ	ハマアサヒ	1.11	0.94	0.33	1.22	0.89	-0.56
		ふ系126号	1.56	1.50	0.61	1.17	1.17	-0.39
56. 1. 7 (22)	シモキタ	ハマアサヒ	0.82	0.82	0.23	0.68	0.36	0.14
		ふ系126号	0.86	1.14	0.41	0.86	0.23	0.36
		アキヒカリ	-0.27	-0.73	0.09	-0.05	-0.50	-0.09
56. 1. 8 (19)	シモキタ	ふ系126号	0.83	1.44	0.50	0.67	0.44	0.56
		ふ系115号	0.94	0.72	0.39	0.78	0.78	-0.06
		ハマアサヒ	1.22	0.89	0.11	1.17	1.17	0.33
57. 12. 10 (15)	シモキタ	ふ系126号	0.67	0.40	0.00	0.60	0.60	0.33
57. 12. 13 (16)	シモキタ	ハマアサヒ	0.69	0.63	0.06	0.69	0.38	0.13
		ふ系126号	0.31	-0.06	0.19	0.25	0.44	0.13

(岩手農試)

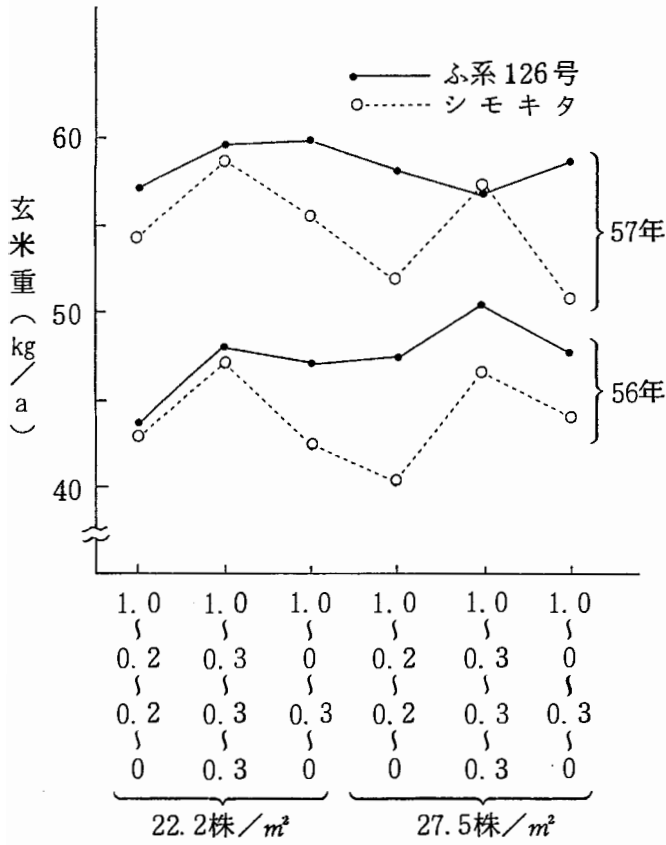
項目 品種名	外 観	香 り	味	粘 り	硬 さ	総 合
ふ系126号	+ 0.23	- 0.15	0.00	0.00	+ 0.31	+ 0.23
シモキタ	+ 0.08	+ 0.08	- 0.25	- 0.46	- 0.23	- 0.08
ハヤニシキ	- 0.23	- 0.08	- 0.17	- 0.54	- 0.08	- 0.12

注) 基準品種なし、試料：岩手農試本場昭和57年産、実施月日：12月6日

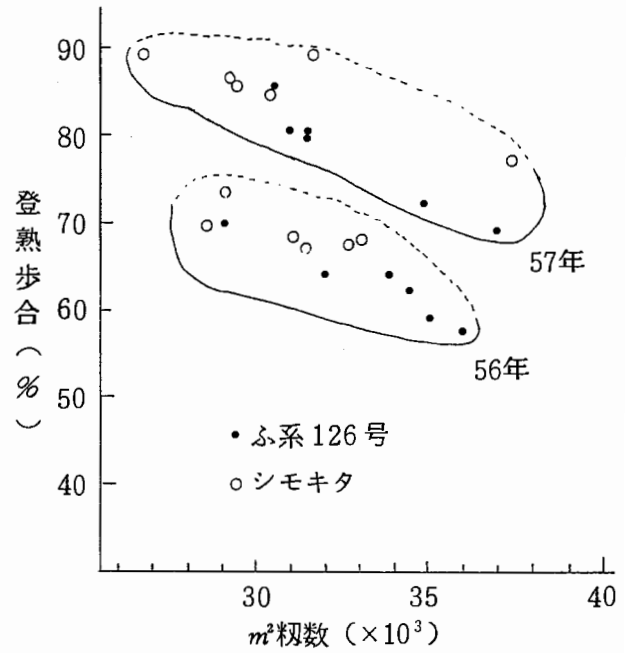
参加者：技術部職員13名

VII 栽植密度

(1) 栽植密度と収量

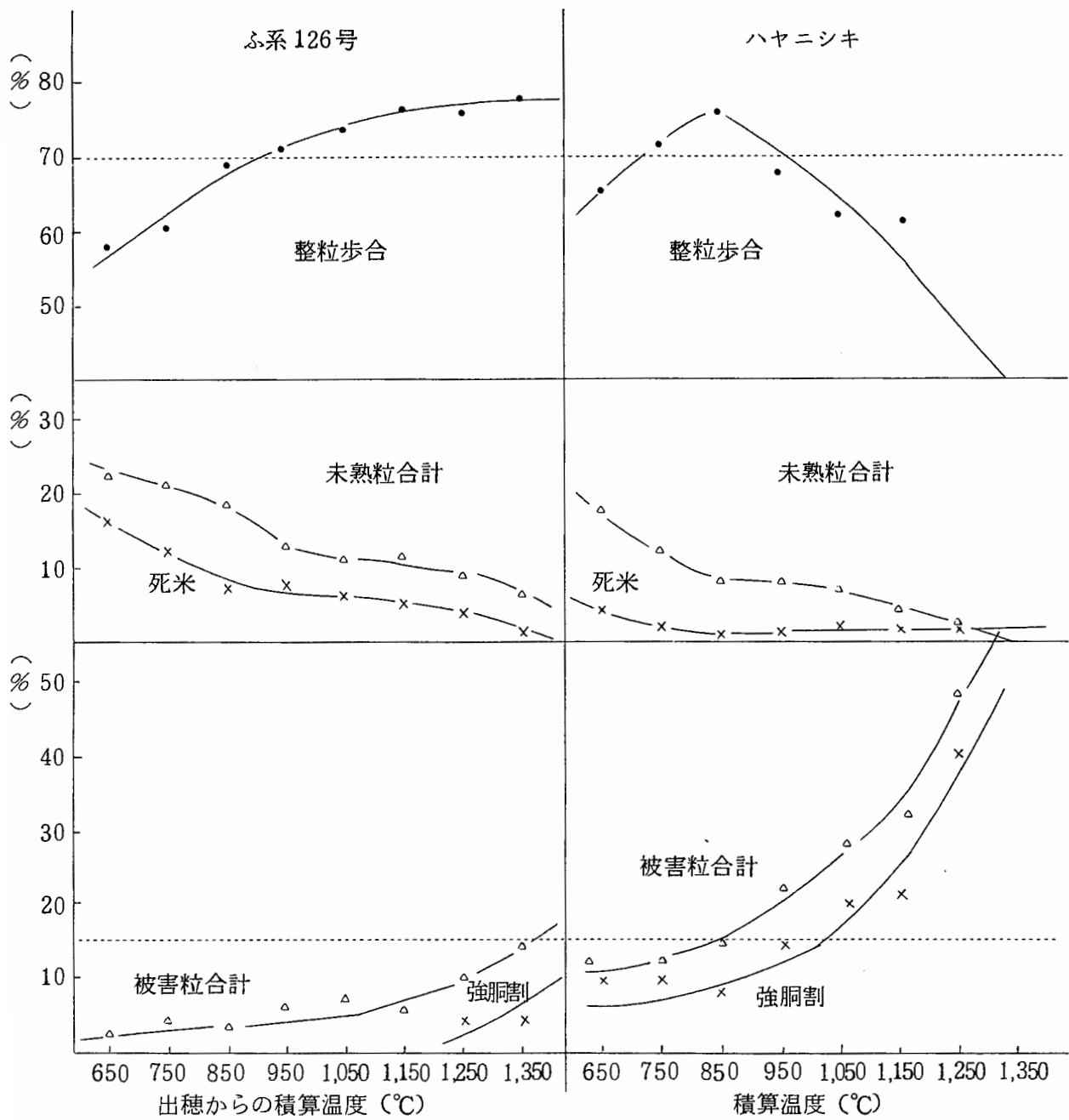


m² 稈数と登熟歩合



ふ系126号は穂数がとれやすく、56年のように穂数確保しにくい年次においては、密植区(27.5株/m²)で多収となったが、比較的穂数を確保できた本年の場合は、疎植区(22.2株/m²)で多収となった。これは、シモキタに比べ、ふ系126号の登熟歩合は高くなりにくいことと、稈数増加によって登熟歩合が低下しやすいためである。

Ⅷ 刈取時期と品質



ふ系 126号は、950°Cから1等に格付される。ハヤニシキに比べ整粒歩合の低下は見られない。特徴は未熟粒の減少が遅く、その中で死米が大きい比率を占めている。刈取適期は950°Cから1250°Cと見られる。

◎水稲新品種「コチミノリ」育成従事者氏名

(青森県農業試験場 藤坂支場)

氏名	年次	昭48	48~49	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
	世代	交配	F ₁	F ₂	F ₃	F ₄	F ₅	F ₆	F ₇	F ₈	F ₉	F ₁₀	
佐藤尚雄		○	○	○	○	○	○	○					
志村英二								○	○	○	○	○	
小林陽												○	
金沢俊光		○	○	○	○	○	○	○	○				
工藤哲夫						○	○	○	○	○	○	○	
中川宣興		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小山田善三		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高館正男		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
横山裕正										○	○	○	
浪岡実		○	○	○	○								

◎水稲新品種「コチミノリ」選抜試験従事者氏名

(岩手県立農業試験場)

氏名	年次	昭55	56	57	58
	佐々木信夫		○	○	○
上野剛				○	
畠山貞雄		○	○		
石川洋		○	○	○	
佐々木忠勝		○	○	○	
畠山均		○	○	○	
小川勝美		○	○	○	
宮部克己		○	○	○	
渡辺茂		○	○		
佐々木競		○	○	○	
菅原明		○	○	○	
伊五沢正光		○	○	○	